平成二十七年度　吹田支援学校　**高等部**　卒業式　式辞

　いよいよ卒業の日がやってきました。今、卒業証書をお渡しいたしました、三四名の皆さん、高等部ご卒業おめでとうございます。生徒たち自身はもとより、保護者の皆様は、これまでのことを振り返り、お喜びもひとしおのこととご推察申しあげます。教職員一同を代表して、重ねてお祝い申しあげます。

　さて、卒業生の皆さん。皆さんは、この吹田支援学校でいろいろなことを学びました。校長自身も一部の皆さんには「一八歳選挙権実現の学年、その背景には何があるの？」とか、「童話　醜いあひるの子が訴えていることは？」等々、少々難しい話もしました。又皆さんは運動会や学習発表会等の行事では、自分の力を出し切る大切さや人前で発表する難しさも学びました。そして東京方面の修学旅行では、素敵な想い出を共有したと思います。

　皆さんの進路先は様々ですが、それら一つひとつが、皆さんの生活の中で役に立つことでしょう。どうかこの学校で学んだことに自信を持ち、自分の花を咲かせようと、自分の進む道を楽しみながら、自己の道を極めてください。

　さて、本日本校高等部卒業式にご臨席のご来賓の皆様方はじめ、関係機関の皆様方、ご多忙の中ありがとうございます。また平素より本校の教育活動にご支援をいただいておりますことを、この場をお借りいたしまして、厚くお礼申しあげますとともに、出来ましたら、平成二九年には創立二〇周年を迎える本校への温かいご理解をお願い申しあげます。本校も、周囲からの信頼に一層応え、地域の支援教育の中心となるよう努力していきたいと思っています。

　最後になりましたが、卒業生のみなさん、みなさんにとって吹田支援学校は母校です。何かあれば、吹田支援学校に帰ってきてください。それでは、みなさんのこれからの、進路先でのご活躍と幸せを、教職員一同いつまでも願っていることを申し添え、私の式辞とさせていただきます。

平成二十八年三月八日

大阪府立吹田支援学校　校長　　奥野　喜之